

空気と水のテクノロジー

RYOWA REPORT

株主通信 vol.25

第64期 中間期 業績のご報告
平成24年4月1日～平成24年9月30日



空気と水のテクノロジー

株式
会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第64期(平成24年4月1日から平成25年3月31日)の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長

阿部捷司

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境はいかがでしたか？

A 公共投資については、政府による震災復興投資が顕在化してきたものの、設備投資については、海外経済の減速や円高などにより景気の先行き不透明感が広がったことから、引き続き低水準なまま推移しました。その結果、建設需要の大幅な回復には至らず、当社を取り巻く経営環境は、前期に引き続き厳しいものとなりました。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期の連結業績は、売上高20,394百万円、営業損失675百万円、経常損失573百万円、中間純損失525百万円となりました。

当中間期は、厳しい受注環境を受けて、上半期の受注が伸び悩んだ上に、激しい価格競争により工事粗利率が低下したことや、保有株式の株価下落による投資有価証券評価損を計上したことなどにより、前中間期と比較して、売上高・利益ともに非常に厳しい結果となりました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
売上高	20,394	23,957
営業利益	△675	△231
経常利益	△573	△121
中間純利益	△525	△217

Q 上半期の業績回復に向けた取り組みについて教えてください。

A 当社は、前期の業績悪化を真摯に受け止め、経営基盤を強化し、持続的企業競争力を高めるべく、「コスト・利益意識の徹底」というキーワードのもと、当期の基本方針として次の3つを掲げました。

- ①コスト競争力の強化、不採算案件の排除および戦略的受注判断の実施
- ②リニューアル分野の受注強化
- ③海外事業の強化

まず、前期に不採算工事が増加したことにより工事粗利率が低下したことを踏まえ、工事原価を管理する部門として、コスト管理室を設置して戦略的な受注判断を行うための体制を構築しました。また、今後増加が期待される環境配慮型の設備改修工事に対応するため、環境・省エネに関するノウハウを蓄積してきた人材をリニューアル部門に配置し、リニューアル分野の受注強化を推進いたしました。さらに、海外事業の強化のため、新たに海外事業部を設置し、その管轄下にジャカルタ駐在員事務所を配置するなど現地の状況に応じた柔軟な対応を可能とする体制を確立いたしました。

Q 下半期の見通しについて教えてください。

A 今後は堅調だった個人消費にも陰りが見え、設備投資の伸び悩みや海外景気の回復の遅れなどの影響により、景気は踊り場状態に陥ることが予想されます。建設業界におきましても、公共投資の増加は見込まれるものの、海外景気の減速による景況感の悪化により、設備投資は下振れリスクを抱えており、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われます。

当期の連結業績見通しにつきましては、建設投資の急激な回復は当面の間期待できず、激しい価格競争が続くものと思われることから、売上高52,000百万円、営業利益150百万円、経常利益310百万円、当期純利益90百万円を見込んでおります。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
売上高	52,000	53,365
営業利益	150	△737
経常利益	310	△560
当期純利益	90	△769

Q 利益還元策についての考えを教えてください。

A 当社は、株主のみなさまに対する配当政策を経営の最重要課題の1つと認識し、長期的な視点に立って、財務体質の充実、経営基盤の強化のため、内部留保に意を用いつつ、期間収益・配当性向を勘案して利益還元を図るとともに、安定した配当の維持を基本方針としております。

当期の配当金につきましては、従来からの安定配当の維持を考慮しつつも、前期に悪化した業績が、当期に予想通りの回復が見込まれない見通しとなりましたことから、誠に遺憾ではございますが、中間配当金につきましては前期から50銭減配の1株につき6円とさせていただきます。また、期末配当金につきましても、前期から2円50銭減配の1株につき6円とさせていただく予定にしております。これにより年間配当金は3円減配の1株につき12円となる見込みであります。

Q 株主のみなさまへメッセージをお願いします。

A 海外の経済情勢への不安や設備投資マインドの低下、さらに国内工場の海外移転など設備投資の市場は依然として縮小傾向にあり、厳しい経営環境が続いております。当社といたしましては、一刻も早い業績回復を達成するための施策を推進してまいります。

その一環として、本年11月にコスト管理室と事業所の購買部門を統合し、新たに調達本部を設置いたしました。調達本部では、コスト管理室が担っていた工事原価管理の役割に加え、全社の調達機能を一本化することにより調達戦略の立案・実施のスピード化を図り、調達機能の強化と集中調達による更なる工事原価の低減に向けた取り組みを強化してまいります。

株主のみなさまには、業績の悪化によりご心配をおかけしておりますが、日頃のご支援にお応えし、より一層の利益還元を行えるよう、今後もグループ一丸となって業績の回復に向けて邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

ジャカルタ駐在員事務所 開設後1年半経過して

インドネシア共和国の首都ジャカルタにテクノ菱和ジャカルタ駐在員事務所を開設してから、1年半が経過いたしました。この間、現地設備業者と共同での施工管理のもと数物件が竣工

を迎えるなど、着実に海外での経験と実績を重ねてまいりました。今後は、インドネシアだけでなく、周辺国にも営業展開するなど、海外事業の基盤を強化してまいります。

● 施工実績

イオンモール船橋



概要	
竣工年月	2012年4月
施 工 地	千葉県船橋市
建物用途	商業施設
延床面積	123,297.00㎡
物件形態	地上5階
工事範囲	空調衛生・消防・給排水設備工事

本物件は、東武野田線「新船橋駅」に直結した大型ショッピングセンターです。核店舗であるイオン船橋と150あまりの専門店からなる5階建ての建物で、1～3階の店舗フロアと4～5階の駐車場フロアで構成されております。空調はブラインターボ冷凍機による氷蓄熱システムを主熱源とし、エネルギーの高効率利用を図っております。



SGリアルティ柏A棟



概要	
竣工年月	2012年6月
施 工 地	千葉県柏市
建物用途	複合型物流施設
延床面積	130,097.00㎡
物件形態	地上5階
工事範囲	空調衛生・給排水設備工事

本物件は、常磐道柏インターチェンジに隣接し、複数のテナントが入居することを想定した複合型物流施設です。この建物は、テナントの入居状況に応じ、受水槽内の水量をフレキシブルに調節することが可能となるシステムを導入し、水槽内の水質維持に配慮した設備を備えております。また、倉庫内の換気についても、有圧扇の取付方法を工夫することにより、雨水の浸入を防止する設計となっております。



光洋サーモシステム株式会社研究開発センター



概要	
竣工年月	2012年5月
施 工 地	奈良県天理市
建物用途	研究開発施設
延床面積	11,030.16㎡
物件形態	地上6階
工事範囲	空調設備工事

本物件は、大型クリーンルームを備え、工場と研究開発の役割を兼ね備えた施設であり、半導体、FPD製造装置の製造や、太陽電池、リチウムイオン電池の製造装置の研究開発を行っております。十分な自然光と自然通風を確保して電力使用量を抑えながら、太陽電池や省エネルギー照明システムなどのエネルギー効率に優れた最新の設備を備えるなど、建物全体が環境に配慮された設計となっております。



PT.SHIROKI INDONESIA

概要	
竣工年月	2012年7月
施 工 地	インドネシア共和国 西ジャワ州 プカシ県
建物用途	自動車部品製造施設
延床面積	6,000.00㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調衛生・換気・消火設備工事



PT.MSMOLD INDONESIA

概要	
竣工年月	2012年9月
施 工 地	インドネシア共和国 西ジャワ州 プカシ県
建物用途	金型製造施設
延床面積	2,400.00㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調衛生・換気・消火・電気設備工事



テクノ菱和の技術の紹介

Vol.03

クリーンな空間、省エネルギーなどの環境問題、きれいな水づくり・・・

テクノ菱和の技術はあらゆる所で活躍しています。

そんな「環境のトータルエンジニアリング企業」である

私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

Check!



安定稼働をサポート!

データセンター向け空調関連技術

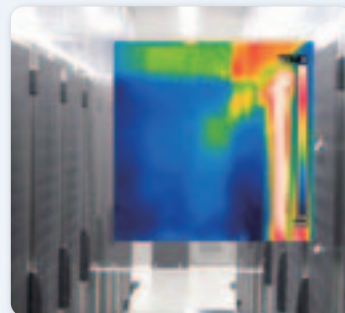
☆データセンターに必要な空調関連技術って何？

データセンターは、金融機関の決済システムや企業の基幹システムなどで利用され、無停止・安定稼働が求められるため、厳格な基準が定められています。このため、情報セキュリティ、防水・防火、耐震・免震、防犯や電磁環境対策のほか、電力・空調の安定供給およびシステムの冗長化（※予備的機能を備えること）など多岐にわたる基準を充たす空調システムを構築する技術が必要となります。

☆どんな技術がデータセンターに活かされているの？

空調システムを単純に冗長化すると、機器の台数が増えることにより複雑なシステムとなるため、メンテナンスが難しくなり、またランニングコストが増加するといった問題が発生します。

そこで当社は、データセンターを安定的に稼働させるため、自社で開発したエネルギー管理システムである「^{TEC}BEAMS[®]」や気流シミュレーションのノウハウを活用し、機器の台数やそれをどこに配置するのか、さらに機器を何台運転させれば最も効率的なのかを判断し、最適なシステムを構築いたします。また、自然エネルギーを有効活用できるフリークーリングなどを組み合わせることで、データセンターの省エネルギー化を実現いたします。



気流シミュレーション

Check!



生産効率の向上に貢献します。

静電気防止技術

☆どうして静電気を防止しなければならないの？

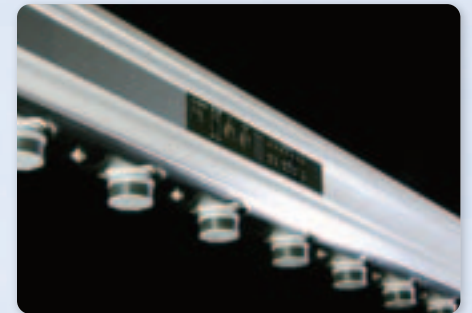
冬になると静電気が原因で、「ビリッ、パチッ」と音がなり、手がしびれる感じがすることがあります。静電気が発生すると、ほこりが付着したり、電子部品が壊れたり、設備が誤作動するなど様々な障害を引き起こします。このため、高品質な製品を効率的に製造するには、静電気の発生を防止しなければなりません。

☆どうやって静電気を防止するの？

静電気を防止する方法として、イオナイザーという装置でイオンを発生させ、そのイオンで静電気を中和して除電する方法があります。従来は、針先（電極）で放電を発生させてイオンをつくる方式が利用されていました。この方式では、針先に不純物が析出して飛散するので、クリーンな環境が求められる製造工程では使用できないほか、着火危険性があるため、化学薬品を用いる生産装置や工場でも使用できないといったデメリットがありました。

☆どんな静電気防止技術があるの？

当社ではイオンを発生させるために微弱X線を使用するなど、クリーンな環境や着火危険性の高い場所でも使用可能なイオナイザーを開発し、デメリットを克服しました。当社は、こうした技術を駆使して、液晶テレビ、スマートフォンなどの液晶パネルや半導体など様々な製造工程で生産効率の向上に貢献しています。



低発塵・シースエア式パルスACイオナイザー



防爆型無発塵イオナイザー

中間連結貸借対照表の要旨

科 目	前中間期 平成23年9月30日	当中間期 平成24年9月30日	前事業年度 平成24年3月31日
(資産の部)			
流動資産	29,954	26,776	33,641
現金及び預金	11,213	8,032	9,594
受取手形・完成工事未収入金等	17,482	17,141	22,786
未成工事支出金等	402	313	213
その他	856	1,289	1,046
固定資産	11,492	11,257	11,493
有形固定資産	3,549	3,474	3,493
無形固定資産	1,201	1,056	1,156
投資その他の資産	6,742	6,726	6,843
資産合計	41,447	38,033	45,134

中間連結損益計算書の要旨

科 目	前中間期 自平成23年4月 1日 至平成23年9月30日	当中間期 自平成24年4月 1日 至平成24年9月30日	前事業年度 自平成23年4月 1日 至平成24年3月31日
売上高	23,957	20,394	53,365
売上原価	21,374	18,542	48,500
売上総利益	2,582	1,852	4,864
販売費及び一般管理費	2,813	2,528	5,601
営業利益	△231	△675	△737
営業外損益	109	102	176
経常利益	△121	△573	△560
特別損益	△125	△210	△176
税金等調整前中間(当期)純利益	△247	△783	△736
法人税、住民税及び事業税	87	124	188
法人税等調整額	△117	△382	△155
少数株主損益調整前中間(当期)純利益	△217	△525	△769
中間(当期)純利益	△217	△525	△769

(単位:百万円)

科 目	前中間期 平成23年9月30日	当中間期 平成24年9月30日	前事業年度 平成24年3月31日
(負債の部)			
流動負債	15,655	13,521	19,825
支払手形・工事未払金等	12,946	10,757	17,368
未成工事受入金	1,038	1,003	815
その他	1,670	1,760	1,641
固定負債	838	815	831
負債合計	16,493	14,337	20,656
(純資産の部)			
株主資本	24,551	23,159	23,879
資本金	2,746	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498	2,498
利益剰余金	19,310	17,918	18,638
自己株式	△4	△4	△4
その他の包括利益累計額	402	537	599
純資産合計	24,953	23,696	24,478
負債純資産合計	41,447	38,033	45,134

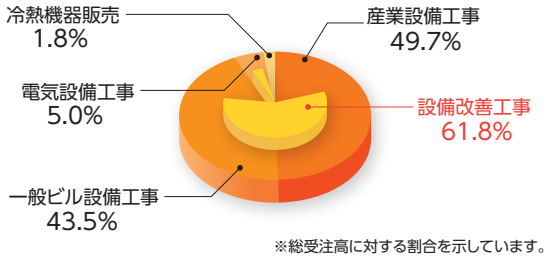
中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科 目	前中間期 自平成23年4月 1日 至平成23年9月30日	当中間期 自平成24年4月 1日 至平成24年9月30日	前事業年度 自平成23年4月 1日 至平成24年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	474	△1,196	△835
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130	△157	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△157	△235	△346
現金及び現金同等物の増減額	186	△1,589	△1,408
現金及び現金同等物期首残高	9,919	8,829	9,919
連結子会社と非連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増加額	319	—	319
現金及び現金同等物中間(期末)残高	10,424	7,240	8,829

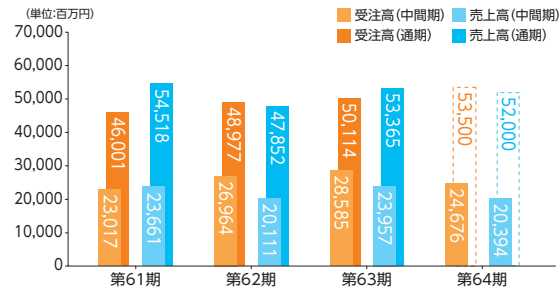
Point
特別損益
特別損失として投資有価証券評価損210百万円を計上いたしました。

業績レポート

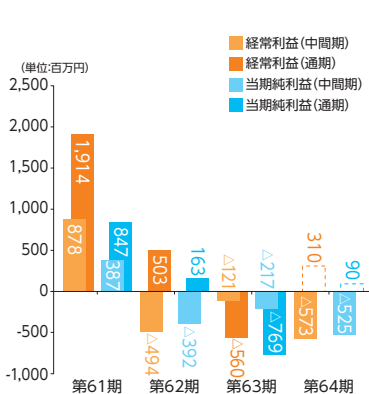
当中間期連結受注高構成比



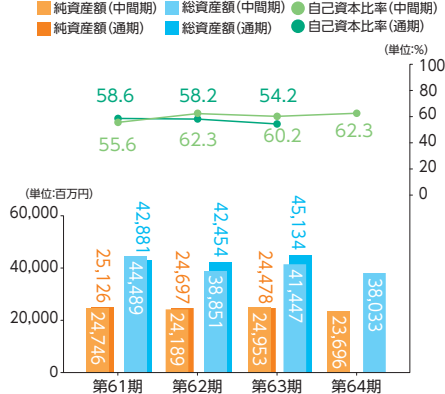
受注高・売上高



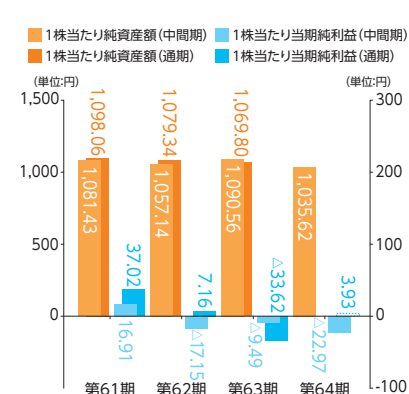
経常利益・当期純利益



純資産額・総資産額・自己資本比率



1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



● 会社概要／株式の状況

会社概要（平成24年9月30日現在）

商号	株式会社テクノ菱和 (英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立	昭和24年12月23日
資本金	2,746,800,000円
上場	東京証券取引所市場第二部
従業員	657名（連結757名）
本社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区赤坂8丁目5番41号

主な事業所	技術開発研究所（東京都世田谷区）
	東京本店（東京都豊島区）
	千葉支店（千葉県千葉市）
	茨城支店（茨城県土浦市）
	名古屋支店（愛知県名古屋市中区）
	静岡支店（静岡県静岡市）
	大阪支店（大阪府大阪市）
	中国支店（広島県広島市）
	東北支店（宮城県仙台市）
	九州支店（福岡県福岡市）
	横浜支店（神奈川県横浜市）
	海外事業部（東京都豊島区）

役員（平成24年9月30日現在）

代表取締役社長	阿部捷司	取締役	飯田亮輔	取締役	岡田秀司
常務取締役	黒田英彦	取締役	松橋秀明	常勤監査役	近重次郎
常務取締役	堂垣内重晴	取締役	知見扶公	監査役（社外）	山田英雄
常務取締役	井尻雅之	取締役	永江繁	監査役（社外）	横山真次
取締役（社外）	武田公温	取締役	濱野豊		
取締役	平松博	取締役	根岸孝雄		

事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業、並びにそれに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。
- 一般ビル設備関連事業
事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。
- 冷暖機器販売事業
設備工事に付帯する空調機などを販売しております。
- 電気設備工事業
松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。
- 保険代理事業
株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。

企業集団の状況 ※連結子会社

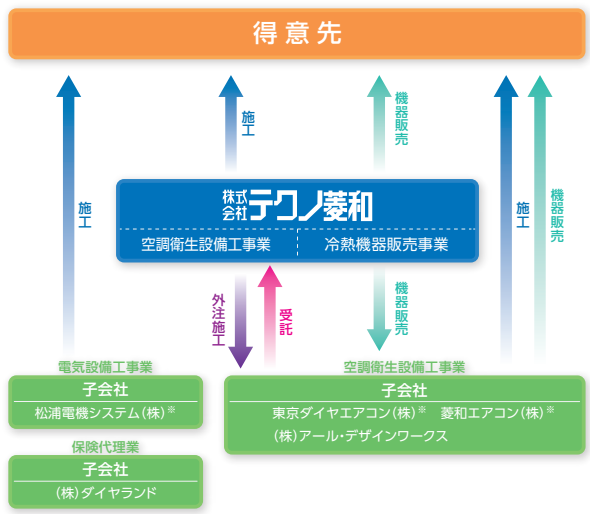
東京ダイエアコン株式会社※
所在地 東京都新宿区
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業

菱和エアコン株式会社※
所在地 愛知県名古屋市中区
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業

松浦電機システム株式会社※
所在地 大阪府守口市
主要な事業の内容 電気設備工事業

株式会社アール・デザインワークス
所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業

株式会社ダイヤランド
所在地 東京都港区
主要な事業の内容 保険代理業



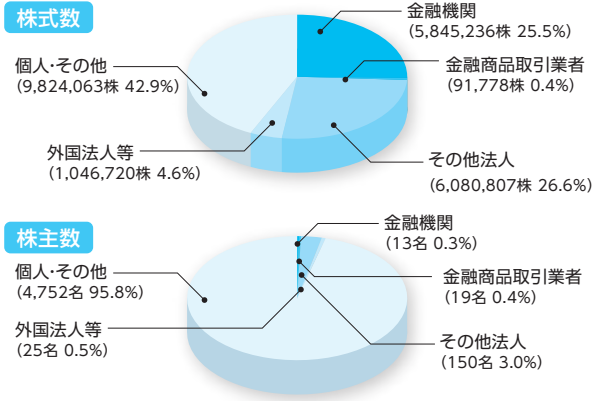
株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株
当中間期末現在の株主総数 4,959名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	1,950	8.5
三菱重工業株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	3.9
テクノ菱和従業員持株会	822	3.5
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
近重次郎	671	2.9

株式の分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	100株
公告掲載URL	http://www.techno-ryowa.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
諸手続き お問い合わせ先	【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません(単元未満株式は除く)。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

